

読む

今回紹介するのは、7月8〜10日にかけて、東京古書会館(東京都千代田区神田)で開催された「明治古典会 七夕古書大入札会」の目録です。

古書の世界を勉強するには、古書市に参加するのが一番ですが、一般の人は立ち入れません。

しかし、今年で46回を迎えるこの入札会は、一般の人でも無料で入場でき、古書の世界の価値観やトレンドまで、存分に勉強できます。



また、国内最大規模で歴史もあるこの入札会に合わせ、どの業者も書や浮世絵、古地図、絵はがきなどの逸品を出品してきます。一生に一度見ることができ、どこかといった品が、間近に見られる貴重な機会でもあります。

各古書店が出品した選りすぐりの品を収録したこの目録自体も、資料的価値があると思います。

今回は大正100年に当たることもあり、岡山ゆかりの竹久夢二の品も多く出品されていました。入札は業者だけでなく、興味があれば、馴染みの業者に同伴してもらい、代わりに入札してもらおうことをお勧めします。=あすなろ書店・片山知則(倉敷市加須山223-6、☎086-428-3647)

古書逸話 明治古典会の「七夕古書大入札会」

これでネコと話ができる73の大切なこと ネコマニア・ラボ(編著)

「飼っていた間に出版してくれていたらと思っただけで、ネコに関する書籍項目を掲載した1冊です。私のネコは家に帰ると後ろ脚で立ち、前脚を突き出して出迎えていました。抱っこのおねだりだと思いいつも抱き上げていました。本書によると、単に「こんちは!」だとか、視線を合わせ、鼻やおこをくっつけるのが正しい対応のようなので、あながち間違っていた対応ではなかったのかも...」

本の森セルバ岡山店のおすすめ

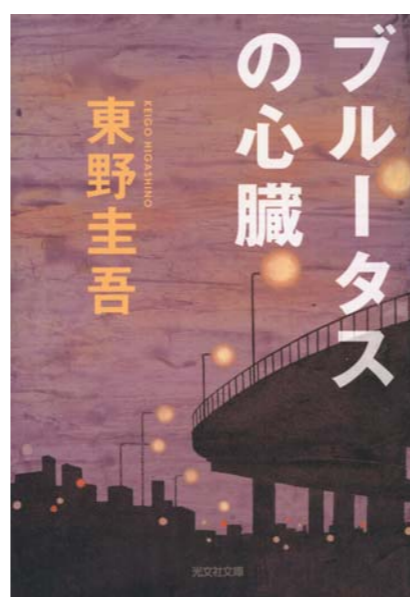
また、皿の水を前脚ですくって飲むという、口ではなげに飲んでいるのか、舌を突き出して飲み込んでいくのか、といった細かい行動も、この本で詳しく解説されています。夜中に突然、部屋中を走り回る「ひとり運動会」は、運動不足解消の「トレーニング」なのかもしれません。これから飼ったネコ、飼いはじめた人にお薦め。かつて飼っていた人は、また飼いたくなること必至です。(学習参考書担当・岩藤田美)



アース・スター エンターテインメント・580円

ネコの「謎」すつきり

ブルータスの心臓 東野圭吾(著)



光文社・600円/ひがしの・けいこ 作家

斬新で今なお新しい

「それは、完全犯罪になるはずだった。その言葉の通り、殺人リレーという普通では思いがけない斬新なトリックが、この作品の大きな魅力です。第三者目線で描かれた、そのトリックを先行し行犯を行く一人の男、余永拓也を中心に語られていきます。完璧と思われたトリックは、一つの幽霊のズレから破綻していき、破綻の原因である隠れた犯人を探すため、そして破綻し

フタバ図書MEGA岡山青江店のおすすめ

た犯罪を完全犯罪にするために行動する拓也。追い詰められる犯人、謎を求め、探偵の二つの目録を同時に堪能できます。東野圭吾の初期作品ですが、新鮮さを感じます。先月放映されたテレビドラマでは、拓也を藤原竜也が演じましたが、イメージがピッタリ一致しています。ドラマを見た人にとっては、ひとま原作も読んでいただきたいと思います。(理工書医書担当・岩重智貴)

四つ話のクローバー 水野敬也(著)



文響社・1500円/みずの・けいや 作家

豊かな人生送るには

「夢をかなえるゾウ」の著者が贈る四つの物語。込められているメッセージは、端的に説明すると欲望をコントロールする秘訣(ひけつ)、人からの意見にどう対処するか、そして感謝、共感、死とどう向き合うか、それぞれのテーマに沿って、まったく先の読めない物語が用意されています。3話目の「見えない学校」は、特に死後の世界を斬新で愉快に描いています。

ジュンク堂書店岡山店のおすすめ

す。天使ってこんな風にも表現できるんです。ユーモラスな作者の持ち味が生かされていて面白い。「自分の生き方を見つめ直したい...でも、どうしたらいいんだろう」と立ち止まってしまう方、心を和ませられる愉快なキャラクター盛りだくさんのこの世界、「日常生活になくて困らないけれど、人生を豊かにするために必要なこと」を探してみませんか?(文庫担当・中原英里)

絶対にゆるまないネジ 若林克彦(著)



中経出版・1365円/わかばやし・かつひこ ハードロック工業社長

ネジ差別化で世界一

「ハードロックナット」は、東北新幹線は「はやぶさ」など、国内の各幹線、瀬戸大橋やレインボーブリッジ、東横イン、ホテル、羽田空港といった、絶対にゆるまないことが求められるさまざまな分野で採用されています。

紀伊國屋書店クレド岡山店のおすすめ

差別化などできず、世界一の商品を生み出せるのか、そのユニークな商品や経営哲学、開発手法は、テレビ、新聞などに取り上げられ、海外のメディアからも注目を集めています。ネジ一筋50年の若林社長がこれまでの歩みや経営哲学、同社の取り組みなどを大いに語る1冊です。(自然科学担当・大上一恵)

民族の共存を願って

「こんばんは」(テレビ)などユニークな形のパンが登場する「からすのパンやさん」。地面の下の世界を探る地球...。ロンセラの数を生んだ85歳の絵本作家が、万里の長城を題材に、中国の歴史を描く新作を発表した。文と地図、年表を手がけ、絵は中国の画家・常嘉輝(じょうかこう)氏と分担。その民が動員された工事の様子や都に多岐の歴史人物の存在を伝える中日合作の絵本だ。紀元前3世紀、中国を統一した秦の始皇帝は、北方の遊牧民族の侵入を防ぐために長城を建設。漢の時代に長城は西へ延長され、その関所を守る部隊の力で、西域諸国を従えるようになり、異民族同士が交流し、少しずつ共存の道が開けていったと説く。「社会や文化のつながりや、長城には、今世界で起きている民族紛争を解決するために、学ぶべきことがたくさんある」。絵本の仕事を通して「ひな祭り」をはじめ、日本には中国の祭りの行事が多い。中国との関係や歴史を長く知る必要がある。と気づく。中国の百科事典や本を集めては読み、何度か書き直しては、30年がたった。その間長城も訪ね、民族の誇りが結集している感動、刺激を受けた。緑内陣の手術を繰り返して、見えない右目だけが描く、視野が狭く、腰痛を抱えているが、旺盛な知的好奇心は衰えない。将来を担う子どもたちへ、美しく丁寧に、人間への知恵を伝える使命に燃え続けている。(鳥居晴杜提供)

加古里子さん「万里の長城」福音館書店、1785円



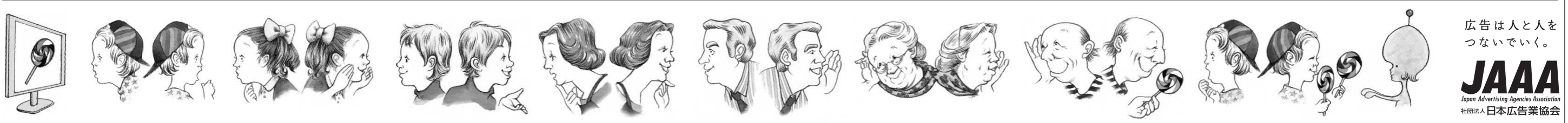
著者未定

お知らせ

◆津田永忠の新田開発を詳説 日本文芸出版 岡山市北区伊島町1丁目17番地、17世紀後半から18世紀初頭にかけての元禄時代、全盛期を迎えた岡山藩の藩政事業を手掛けた津田永忠の新田開発への情熱と知恵を描いた岡山文庫の新刊「津田永忠の新田開発の心」(柴田一著) Ⅱ写真Ⅱを刊行した。治水と新田開発の両立を目指した永忠の発想の原点を探るとともに、開発に伴う補償問題や資金調達、さらには大事業を完遂した永忠の人間像までを、豊富な図版や詳細な年譜で紹介。903円。

Table with 7 columns: 6月文庫ベスト, 週間新書ベスト(7/4,7/10), 週間総合ベスト(6/27,7/3), 週間総合ベスト(6/27,7/3), 週間新書ベスト(6/27,7/3), 週間総合ベスト(7/3,7/9). Each column lists book titles and prices for various publishers like Kinokuniya and Juniku堂.

「読む」は毎週火曜日に掲載します。



広告は人と人をつなぐ。 JAAA Japan Advertising Agencies Association 社団法人 日本広告業協会

Advertisement for旭川の源流 (Source of Asahi River). It features images of a river and a sink with dishes, with text promoting the use of旭川 (Asahi) detergent to keep the river clean. Text includes 'こちら、旭川の源流。' and 'こちら、旭川の源流。' and '旭川を日本一美しい川にしよう。' (Let's make Asahi River the most beautiful river in Japan.)